

おいしさの中心、安心の先頭へ。

2022年3月期 決算説明会資料



LIFEDRINK COMPANY

2022年5月12日



## 本資料の取扱い上の注意

本資料は、株式会社ライフドリンク カンパニー(以下「当社」といいます。)及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競争、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。また、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。

今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

株式会社ライフドリンク カンパニー  
2022年5月12日

## ■ ライフドリンク カンパニーとは

- 今年で設立50周年の「水」「お茶」「炭酸飲料」を製造・販売するメーカー
- 清涼飲料市場の成長カテゴリーの中で、「低価格」を武器に「高い売上高成長(2020年3月期-2022年3月期 **CAGR14%**)」と「高い収益性(**営業利益率8.9%**)」を実現

## ■ 2022年3月期の業績

- 「Max生産Max販売の進化」への取り組みを着実に実行した結果、主要KPIである生産数量が想定通り50百万箱に増加(**前期比+11%**)
- 売上高及びすべての利益項目で業績予想をクリア(**売上高253億円 (前期比+12%)**、**営業利益22.5億円 (前期比+62%)**)

## ■ 2023年3月期について

- 引き続き「Max生産Max販売の進化」に注力し、生産能力の増強及び物流費用の削減等に取り組む
- 足許のコスト増加要因を増産や生産性向上でカバーし、2023年3月期は増収増益を見込む(**売上高275億円 (前期比+8%)**、**営業利益26.0億円 (前期比+15%)**)

## 1. 会社紹介

2. 2022年3月期業績

3. 2023年3月期について

4. Appendix

# ライフドリンク カンパニーとは

清涼飲料市場の成長カテゴリーの中で、「低価格」を武器に、「高い売上高成長」と「高い収益性」を実現している会社です

低価格

水飲料2Lの店頭価格  
(当社調べ\*1):  
当社: **58~68円**  
他社: **78~98円**  
(他社対比: 約 **▲30%**)

売上高成長

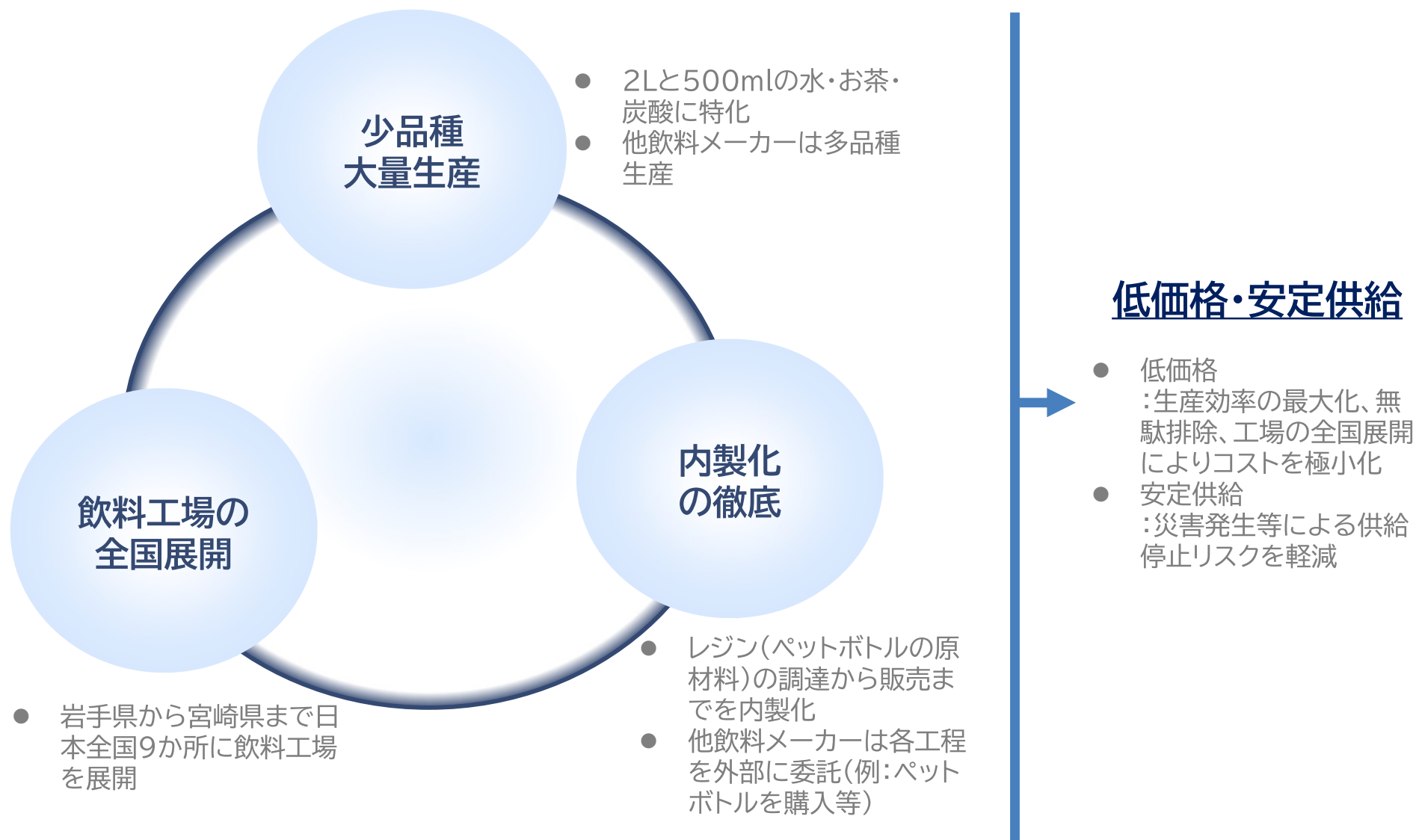
売上高成長率  
(2020年3月期-  
2022年3月期CAGR)  
**14.2%**

収益性

営業利益率  
(2022年3月期)  
**8.9%**

## 当社の特徴と強み

当社は「少品種大量生産」「内製化」「工場の全国展開」により、「低価格」な飲料を全国に「安定的に」提供するという強みを有しています



## 当社の特徴と強み(少品種大量生産)

液種は水・お茶・炭酸飲料、容量は2L・500mlに集中。各工程で発生する無駄の極小化を実現しています



LDC 自然の恵み天然水  
500ml/ 2L



強炭酸水 ZAO SODA  
500ml



LDC お茶屋さんの緑茶  
500ml/ 2L

LDC お茶屋さんの烏龍  
茶 500ml/ 2L



彩茶-あやちゃ-  
500ml/ 2L

彩水-あやみず-  
500ml

# 当社の特徴と強み（内製化/工場の全国展開）

内製化により主に製造コストを、工場の全国展開により物流コストを低減しています

## 調達から販売までの内製化



## 飲料工場の全国展開



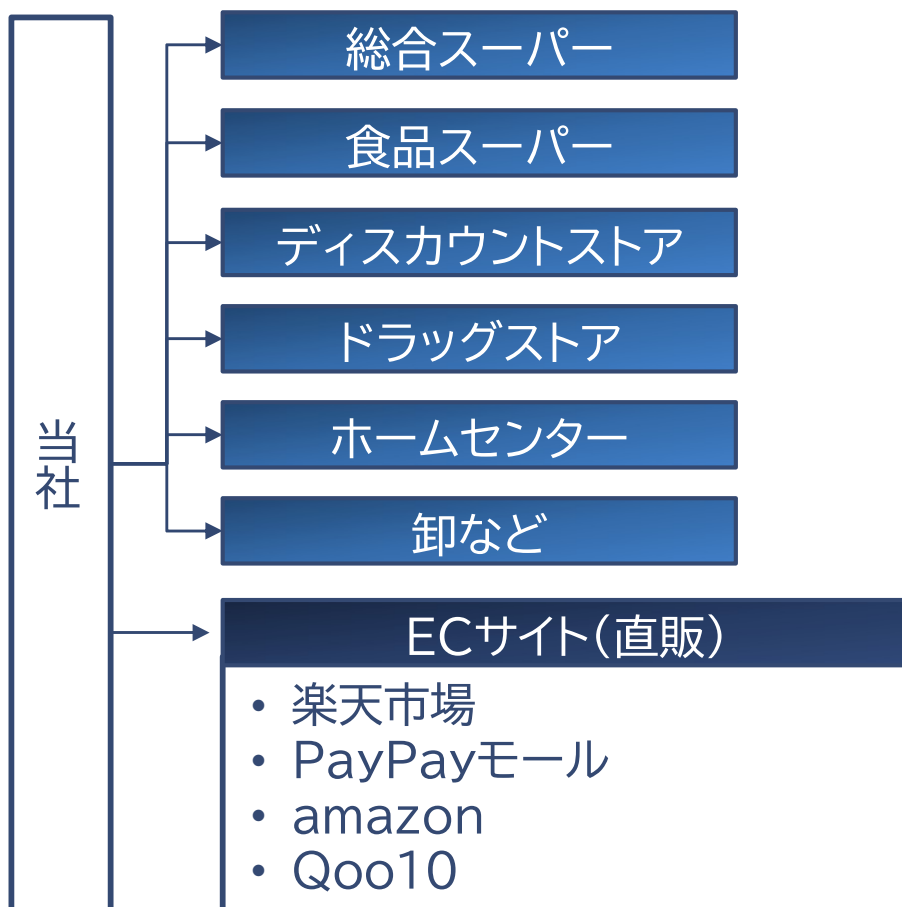
- 岩手工場(岩手県)
- 蔵王工場(山形県)
- 栃木工場(栃木県)
- 富士工場(山梨県)
- 美山工場(京都府)
- 尾鷲工場(三重県)
- 湯浅工場(和歌山県)
- 耳納工場(福岡県)
- 生駒名水(宮崎県)



# 当社の販路（小売企業との関係・EC展開）

各業態における主要な小売企業との関係を構築。ECは楽天年間ランキング総合1位を獲得する等、順調に拡大しています

## 小売企業との強固なパートナーシップ



## EC展開によるダイレクトチャネルの拡大



1. 会社紹介
2. **2022年3月期業績**
3. 2023年3月期について
4. Appendix

# 決算ハイライト(2022年3月期 通期)

生産数量\*1

50 百万箱\*2  
(前期比+11%)



売上高

253 億円  
(前期比+12%)



営業利益

22.5 億円  
(前期比+62%)



営業利益率

8.9%  
(前期比+2.8%pt)



ROE

35.1%  
(調整後\*3)

## 業績サマリー(2022年3月期 通期)

### 業績予想クリア

- 売上高及び**すべての利益項目**で業績予想をクリア

### 増収・増益

- 既存工場の設備更新など、生産能力増強による**生産数量の増加**が寄与し、増収
- 増収に加えてペットボトル軽量化や省人化等のコスト削減等により増益

### 上場関連費用の計上

- 2021年12月の東京証券取引所市場第二部\*1への上場に伴い発生した**一過性の費用96百万円**を上場関連費用として営業外費用に計上

### 税金関連費用

- 増資に伴い資本金が10億円となったことにより、繰越欠損金の控除限度額に係る規定が適用され、税金費用(法人税等311百万円)が発生
- **繰延税金資産の計上**により**一過性の利益**(法人税等調整額▲635百万円)を計上

## 業績(2022年3月期 通期)

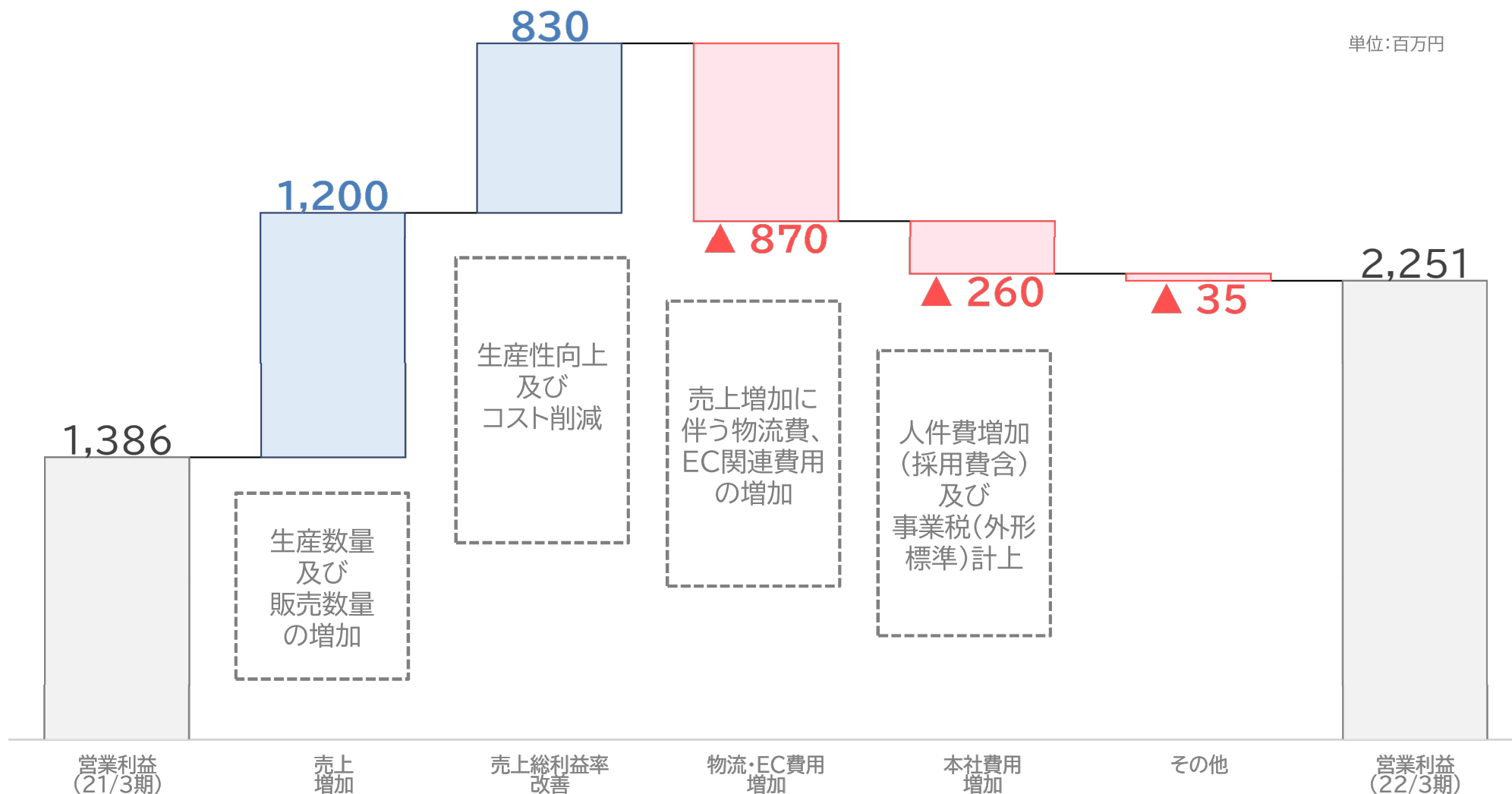
自社飲料の11%増産が寄与し、26.5億円の増収。増収に加えて各種コスト削減等に伴う収益性改善により、売上成長を上回る利益成長を達成しました

単位:百万円	21年3月期 (通期)	22年3月期 (通期)	増減 (対前年)	前年比	業績予想比
売上高	22,735	25,389	+2,653	+12%	+2%
営業利益 (率)	1,386 (6.1%)	2,251 (8.9%)	+865 (+2.8%pt)	+62%	+2%
当期純利益 (率) (EPS)	1,402 (6.2%) (124.93円)	2,320 (9.1%) (200.11円)	+917 (+3.0%pt) (+75.17円)	+65%	+10%
<b>【参考】</b>					
当期純利益(調整後*1) (率) (EPS)	687 (3.0%) (61.24円)	1,452 (5.7%) (125.28円)	+765 (+2.7%pt) (+64.04円)	+111%	▲1%
EBITDA (率)	2,241 (9.9%)	3,212 (12.7%)	+971 (+2.8%pt)	+43%	+1%

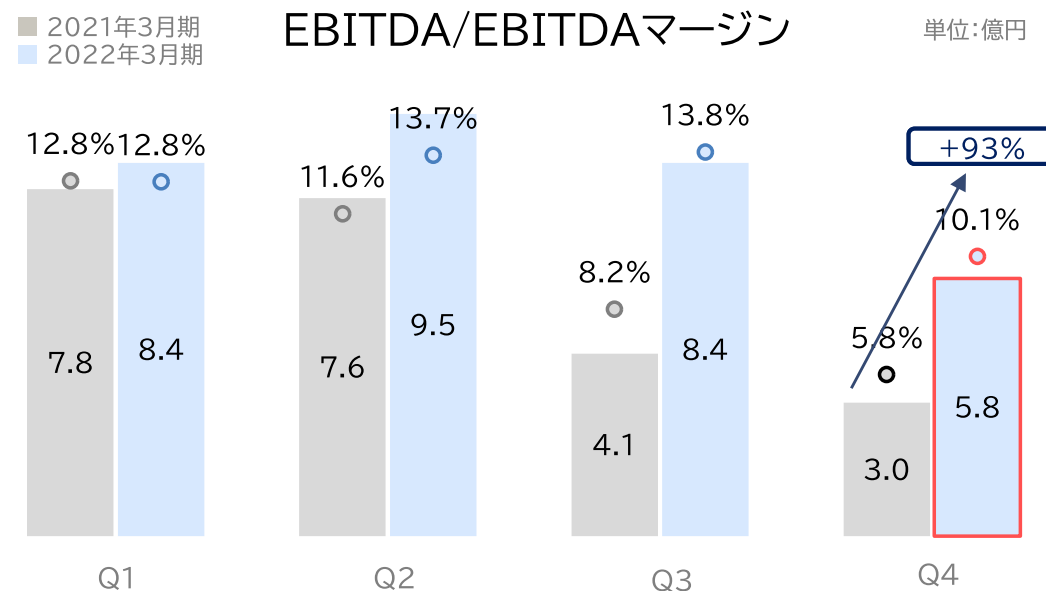
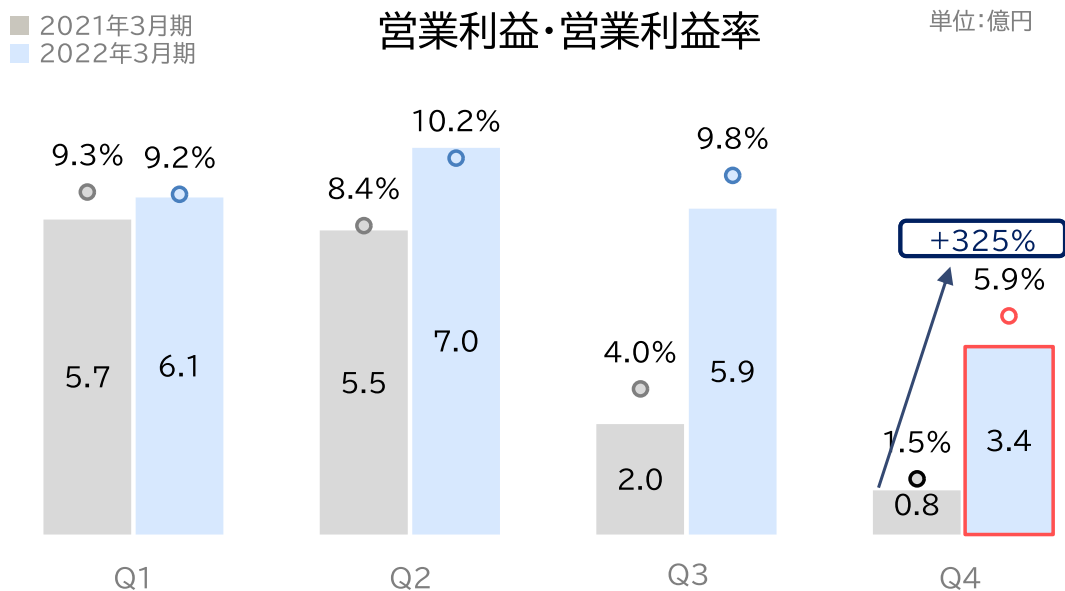
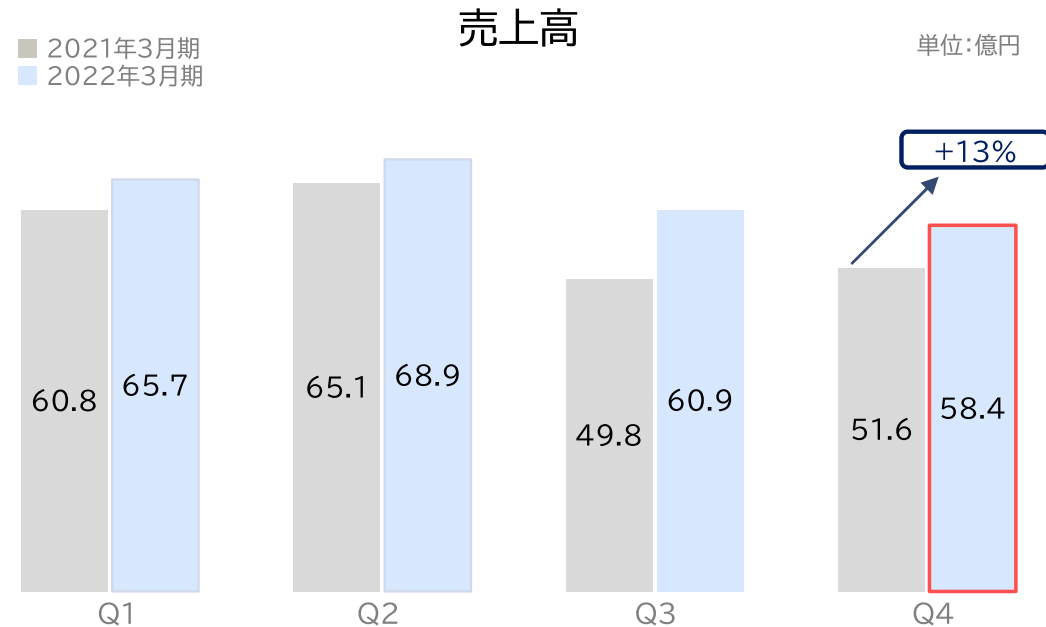
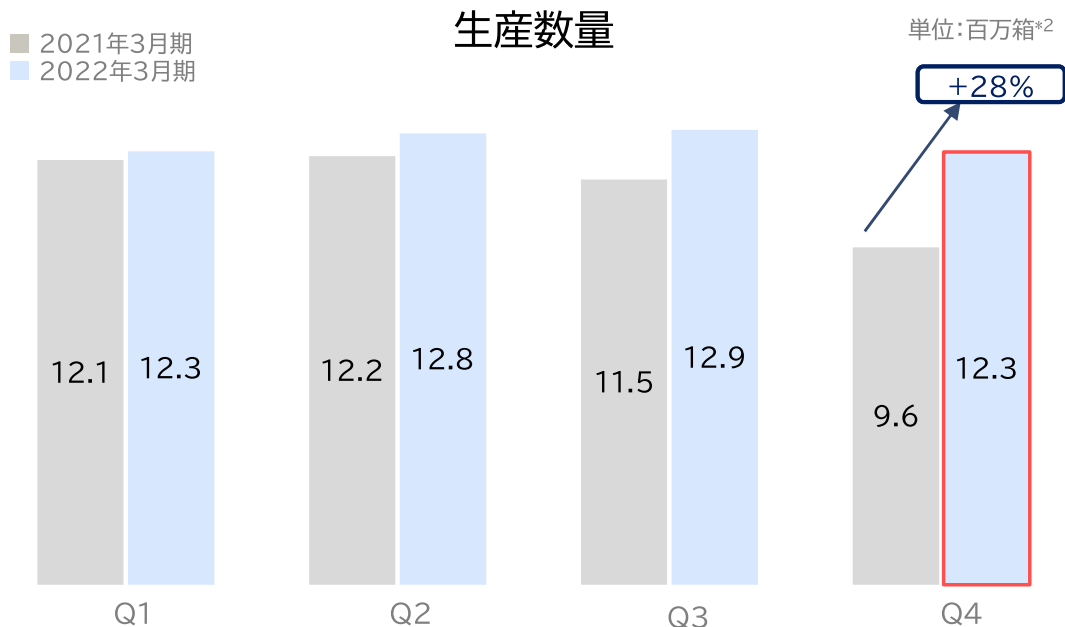
\*1:一過性の上場関連費用及び繰延税金資産計上による利益の影響を調整しています。

## 業績増減要因（対2021年3月期）

売上増加に伴う物流費用等の増加及び本社費用の増加を、増収及びコスト削減や生産性向上による利益率改善等でカバーし、営業利益は前期比で8.6億円増加しました



# (参考)四半期業績の推移



\*1:前期四半期数値は参考値であり、EY新日本監査法人によるレビューは受けておりません。  
\*2:1箱=12Lで計算しています。

## 財政状態(2022年3月期)

当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、及び増資に伴う資本金/資本剰余金の増加により、自己資本比率が36%に上昇しています

単位:百万円	2021年3月期		2022年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	7,422	53%	<b>8,923</b>	52%	+1,501
(現預金)	2,665	19%	<b>3,894</b>	23%	+1,228
固定資産	6,581	47%	<b>8,210</b>	48%	+1,628
(無形固定資産)	65	0%	<b>60</b>	0%	▲5
資産合計	14,003	100%	<b>17,133</b>	100%	+3,129
流動負債	7,884	56%	<b>7,720</b>	45%	▲164
固定負債	4,086	29%	<b>3,169</b>	18%	▲917
(有利子負債)	9,157	65%	<b>7,713</b>	45%	▲1,443
負債合計	11,971	85%	<b>10,889</b>	64%	▲1,081
純資産	2,032	15%	<b>6,243</b>	<b>36%</b>	+4,211
負債及び純資産合計	14,003	100%	<b>17,133</b>	100%	+3,129



## キャッシュフロー(2022年3月期 通期)

営業キャッシュフロー収入は利益増などにより前期比で8.0億円増加。また、2022年3月期は売上成長や収益性改善に向けた設備投資を積極的に実施しました

単位:百万円	21年3月期 (通期)	22年3月期 (通期)	増減	増減率
営業活動による キャッシュフロー	2,114	2,922	+807	+38%
投資活動による キャッシュフロー	▲267	▲2,133	▲1,865	+698%
(設備投資)*1	▲610	▲2,136	▲1,526	+250%
フリーキャッシュフロー*2	1,847	789	▲1,058	▲57%
財務活動による キャッシュフロー	▲1,290	438	+1,729	-
(有利子負債の増減)	▲1,154	▲1,443	▲289	+25%
(増資資金)	-	1,890	+1,890	-
現金及び現金同等物の 期末残高	2,655	3,894	+1,238	+47%

\*1:有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出の合計で算出しています。

\*2:営業CFから投資CFを調整することで算出しています。

## 主な設備投資進捗(2022年3月末時点)

具体的には、湯浅工場や富士工場等において生産能力の増強や省人化を、また、栃木工場において物流費削減を目的とした設備投資を実施しました

目的	拠点	投資予定額(百万円)		ステータス
		総額	当期支払額	
増産	尾鷲工場	58	20	完了
	栃木工場	135	72	完了
	耳納工場	125	125	完了
	湯浅工場	270	270	完了
	岩手工場	90	60	完了
	蔵王工場	190	122	完了
増産・省人化	富士工場	553	76	2022/4稼働
省人化	7工場	420	270	1ライン未了
物流費削減	栃木工場	1,615	714	2022/6稼働
合計		3,456	1,729	

# 財務方針・配当還元

成長投資等を優先しつつも、2022年3月期は配当性向(調整後)20%超となる1株当たり26.0円の配当(配当総額は3.2億円)を予定しています

方針	内容	2022年3月期
1. 成長投資の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● 成長投資を積極的に実施<ul style="list-style-type: none"><li>● 既存工場の生産能力増強</li><li>● 新工場建設</li><li>● M&amp;A</li></ul></li></ul>	設備投資額 (対前期) <b>21.3億円</b> (+15.2億円)
2. 財務体質の安定	<ul style="list-style-type: none"><li>● 利益成長及び有利子負債の削減等により、将来の成長投資のための負債調達能力を高める</li></ul>	NET Debt*1/EBITDA (対前期) <b>1.2x</b> (1.7xpt 改善)
3. 株主還元	<ul style="list-style-type: none"><li>● 成長投資/財務体質の安定を優先事項とする</li><li>● 一方で一定の株主還元として配当性向20%を目指す</li></ul>	1株当たり配当(予定) <b>26.0円</b> 配当額(予定) <b>3.2億円</b>

\*1:有利子負債から現預金を控除することで算出しています。

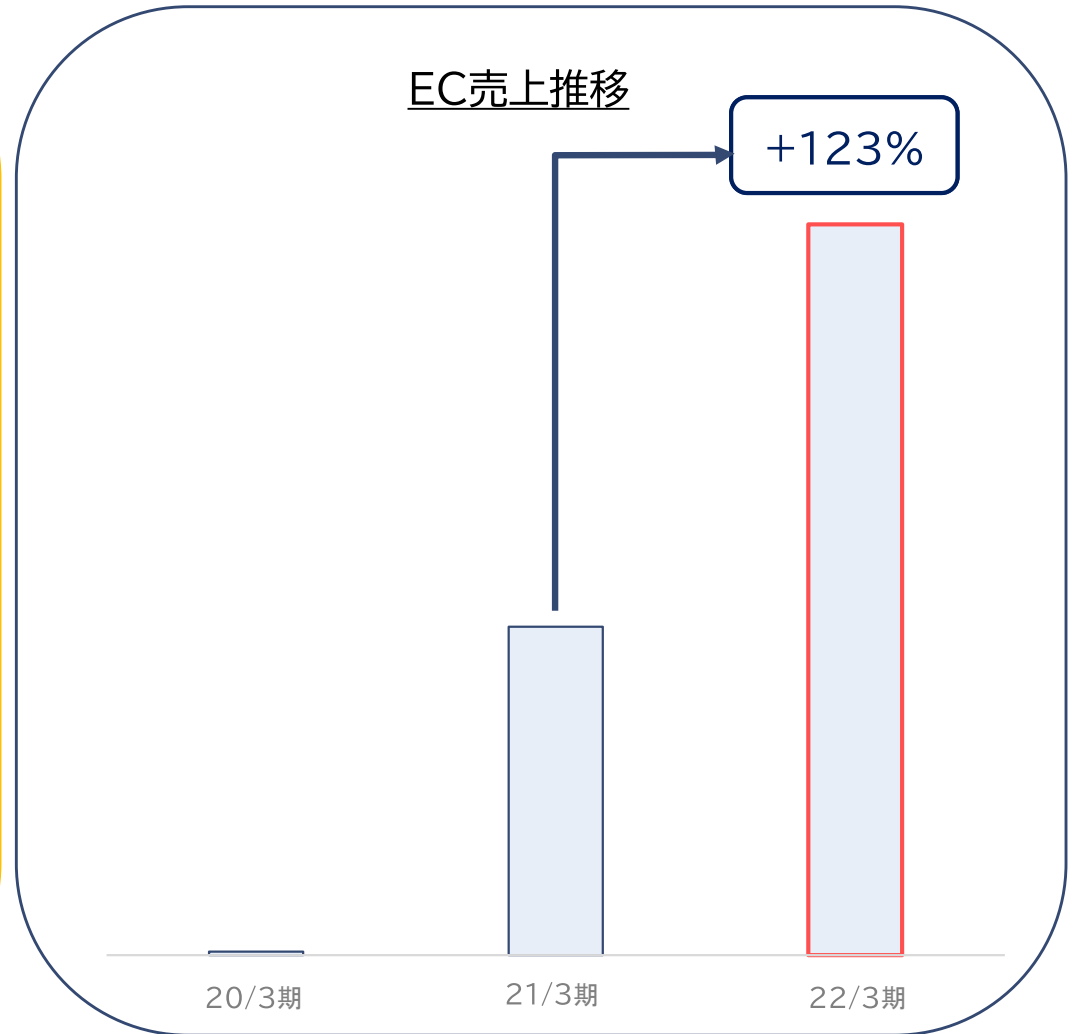
# 2022年3月期トピックス①:ZAO SODA 楽天年間ランキング総合1位受賞

2020年2月発売開始の「ZAO SODA」は、「楽天年間ランキング2021\*1」において総合1位を獲得しました



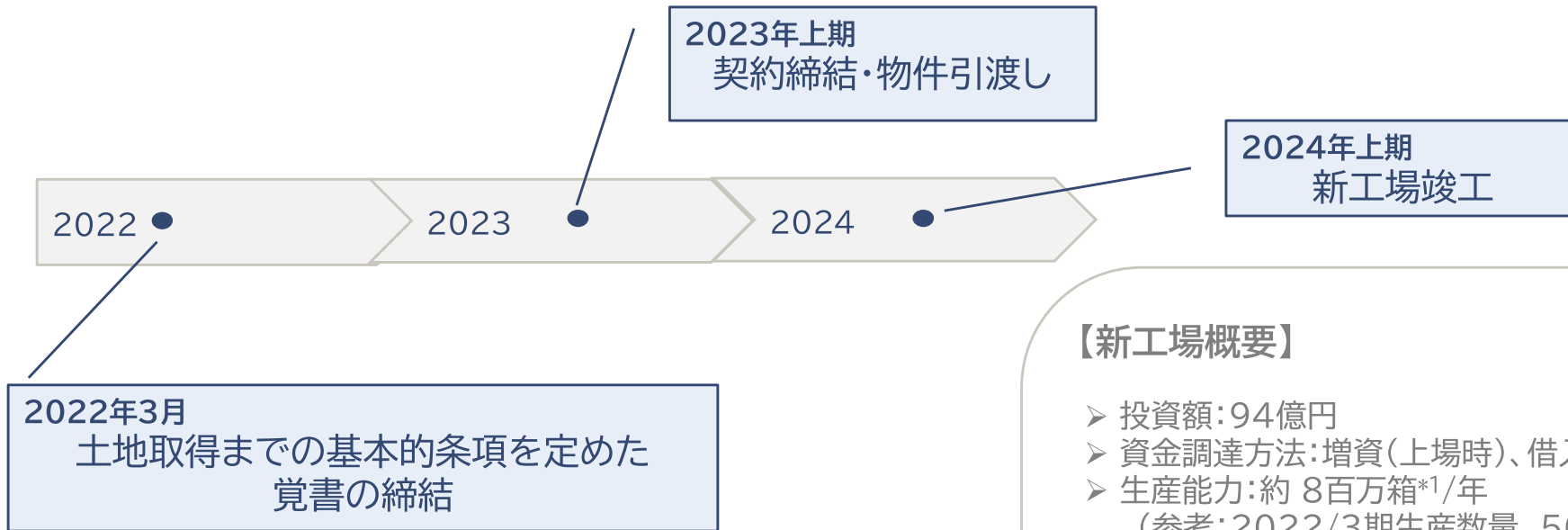
ライフドリンクカンパニー  
強炭酸水 ZAO SODA

名峰・蔵王連峰山麓の地下水を使用した、強炭酸水。おいしい水を、すっきりさわやかで爽快な飲み心地に仕上げました。健康的な毎日の飲み物や、ハイボールの割り材に。



## 2022年3月期トピックス②:御殿場市との土地取得に関する覚書締結

新工場は候補地が御殿場市に決定し、御殿場市との間で土地取得に関する覚書締結。2年後の2024年上期竣工を目指しています



### 【新工場概要】

- 投資額:94億円
- 資金調達方法:増資(上場時)、借入金及び自己資金
- 生産能力:約 8百万箱\*1/年  
(参考:2022/3期生産数量 50百万箱\*1)

(新工場イメージ)



1. 会社紹介
2. 2022年3月期業績会
3. **2023年3月期について**
4. Appendix

## 今後の取り組み

当社は生産能力の増強やEC/D2Cモデルへのチャレンジ、生産性の向上により、企業価値向上を図ります

### Max生産Max販売の進化 =生産能力の増強・獲得

- 既存工場の設備更新・改良による生産能力増強
- 新工場建設による生産能力の獲得
- M&Aによる生産能力の獲得

### 生産性の向上

- 物流拠点の見直し(栃木工場倉庫建設など)

### EC/D2Cモデルへのチャレンジ

- 自社サイトの構築

## 業績予想（2023年3月期）

原材料費や水道光熱費等の増加を、増産に伴う増収やペットボトル軽量化、物流費削減等でカバーすることにより増益及び増配を見込んでいます

単位:百万円	22年3月期 (実績)	23年3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	25,389	27,500	+2,110	+8%
営業利益 (率)	2,251 (8.9%)	2,600 (9.5%)	+348 (+0.6%pt)	+15%
当期純利益 (率) (EPS)	2,320 (9.1%) (200.11円)	1,700 (6.2%) (135.45円)	▲620 (▲3.0%pt) (▲64.65円)	▲27%
<b>【参考】</b>				
当期純利益(調整後*1) (率) (EPS)	1,452 (5.7%) (125.28円)	1,700 (6.2%) (135.45円)	+247 (+0.5%pt) (+10.17円)	+17%
EBITDA (率)	3,212 (12.7%)	3,700 (13.5%)	+487 (+0.8%pt)	+15%
配当額(予定)*2 (DPS)	326 26.00円	338 27.00円	+12 +1.00	+4%

\*1:一過性の上場関連費用及び繰延税金資産の計上による利益の影響を調整しています。

\*2:2022年3月末時点の発行済み株式総数に基づき算出しています。



## 当期純利益増減要因(対 2022年3月期)

### 増益要因



- 既存工場の**生産能力増強**により生産数量が増加。あわせて販売先を確保することで増収
- **栃木工場新倉庫**の稼働により物流関連費用を削減
- **省人化投資**による労務費減少
- **ペットボトル軽量化**による原材料費削減

### 減益要因



- **原油価格高騰**や**円安**による、原材料費や水道光熱費の増加
- **設備更新等**による、消耗修繕費の増加
- 2023年3月期は税金費用が増加(2022年3月期は**繰延税金資産計上**による**一過性の利益**(税金費用のマイナス)を計上)

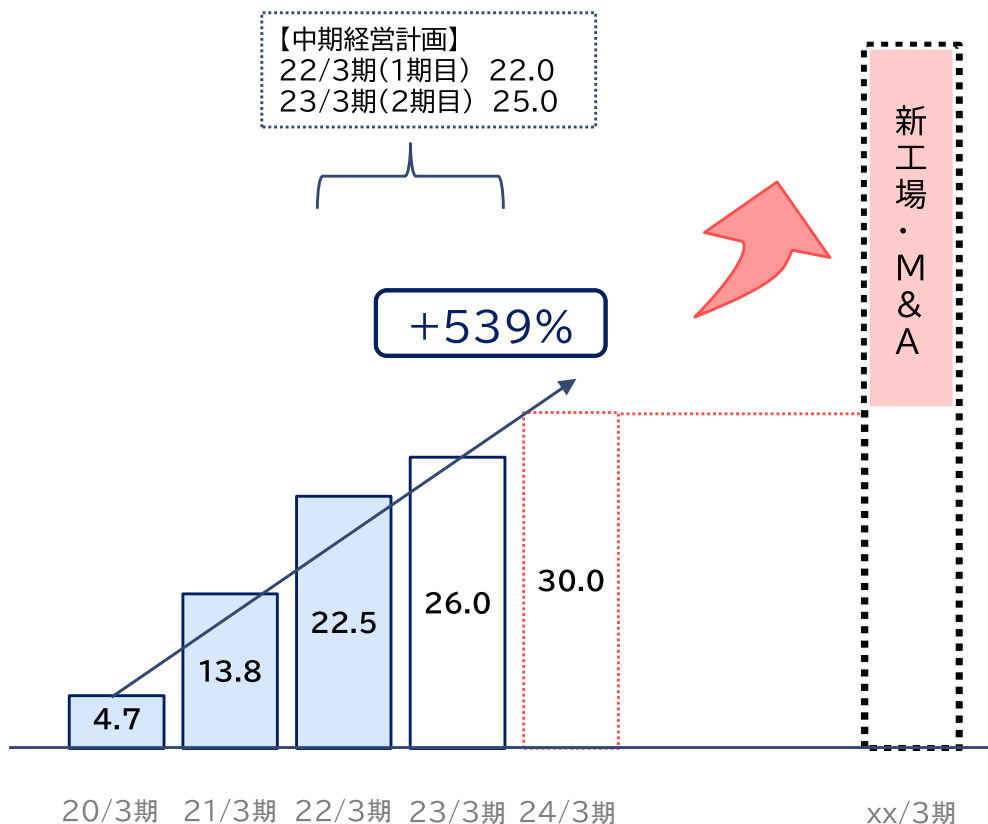
# 中期経営計画の進捗

2021年9月策定の中期経営計画は順調に進捗。中期経営計画最終年度には、生産数量57百万箱、営業利益30億円を目指しています(新工場等は未反映\*3)

- 中期経営計画(2021年9月時点)
- 業績予想
- 実績

単位:億円

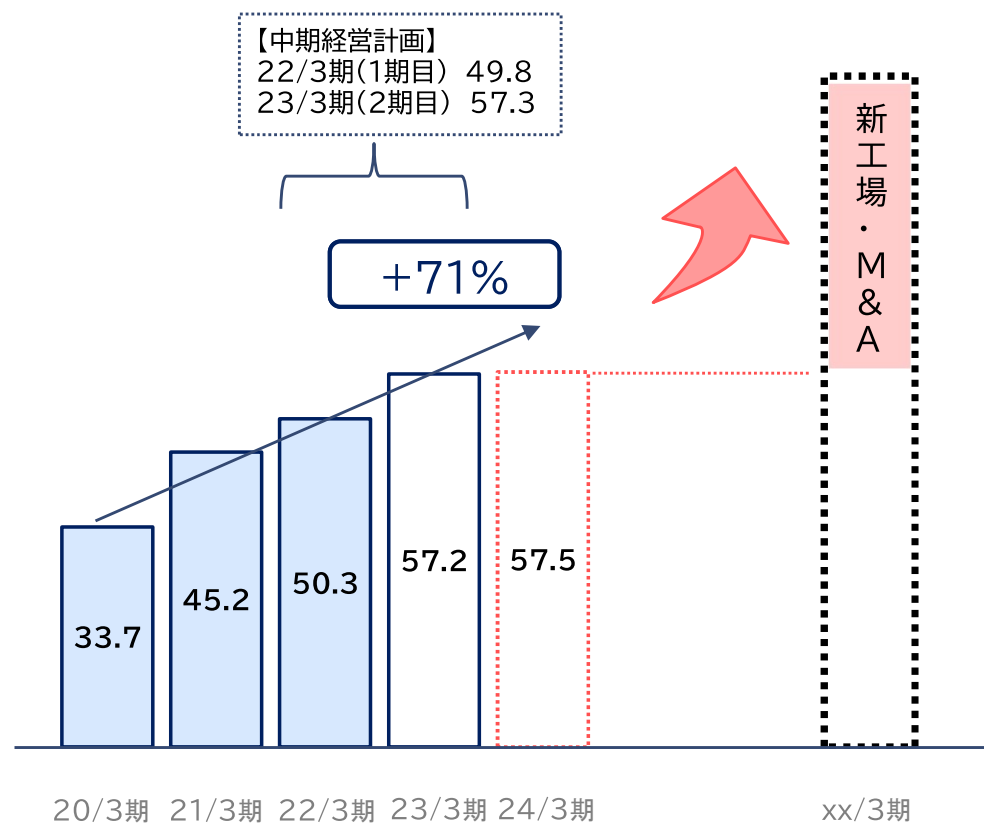
## 営業利益



- 中期経営計画(2021年9月時点)
- 業績予想
- 実績

単位:百万箱\*2

## 生産数量\*1



\*1:グループ会社である生駒名水(株)の生産数量は含めていません。また新工場も含まれていません。  
\*2:1箱=12Lで計算しています。 \*3:詳細な検討が完了次第、新工場計画を反映した中期経営計画を開示予定です。

1. 会社紹介
2. 2022年3月期業績会
3. 2023年3月期について
4. **Appendix**

## 会社概要

株式会社ライフドリンク カンパニーは、大阪を本社所在地とする「水」「お茶」「炭酸飲料」のメーカーです

会社名	株式会社ライフドリンク カンパニー (英:LIFEDRINK COMPANY, INC.)
代表者	岡野 邦昭
創業	1950年(設立:1972年)
本社所在地	大阪府大阪市
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● ドリンク・リーフ事業－水飲料/茶系飲料/炭酸飲料・茶葉製品の製造・販売</li><li>● その他事業－ソース製品の製造・販売</li></ul>
事業所一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大阪本社・東京支社</li><li>● 工場10カ所(飲料＝岩手、蔵王(山形)、栃木、富士(山梨)、尾鷲(三重)、美山(京都)、湯浅(和歌山)、耳納(福岡)、他＝知覧(鹿児島)、茨城)</li></ul>
従業員数	517名(2022年3月末時点)
備考	東京証券取引所スタンダード市場(証券コード:2585) (2021年12月21日東京証券取引所市場第二部*1に上場)

\*1:2022年4月4日より新市場区分における「スタンダード市場」に移行しています。

## 企業理念

当社は「おいしさの中心、安心の先頭へ」を企業理念として、「大切な人に、飲ませたいものだけを」を行動指針として活動しています

おいしさの中心、安心の先頭へ。

赤ちゃんからご高齢の方まで、  
すべての人の“いつも”に寄り添える会社であるために。

株式会社ライフドリンクカンパニーは、  
“おいしさのスタンダード”と“確かな安全性”を追求し、  
朝起きてから夜眠るまで、毎日のあらゆるシーンで  
選んでいただける味と品質を持った商品をお届けしていきます。

# 沿革

## 当社は今年、会社設立50周年を迎えました

- 1950年に田中たねが創業した緑香園(茶卸業)を田中綜治が法人化し、1972年にあさみやを設立

*Asamiya*

2015年	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLSA Capital Partners Japanがサブアドバイザーを務めるSunrise Capitalと資本業務提携</li> </ul>
2016年	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士名水 足利工場(現栃木工場)を設立</li> </ul>
2017年	<ul style="list-style-type: none"> <li>社名をライフドリンク カンパニーに変更</li> <li>山忠運輸(運送業)を売却</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>LIFEDRINK COMPANY</b></p>
2019年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクアピア(氷事業)を売却</li> <li>太陽光発電事業を売却</li> </ul>
2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽天市場にオンラインストアを開設。「ZAO SODA」を販売開始</li> <li>北勢麵粉(乾麺・インスタントラーメン)を清算</li> </ul>
2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京証券取引所市場第二部*1に上場</li> </ul>

創業  
(1950年)

ドリンク事業への進出・事業の多角化

Sunrise Capital  
の資本参加

ドリンク事業への集中

再成長へ

2001年	<ul style="list-style-type: none"> <li>青峰ビバレッジ(現耳納工場)を買収。茶系飲料の製造・販売を開始</li> </ul>	2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯浅名水(現湯浅工場)を設立</li> <li>東チョコを買収。チョコレート製品の製造・販売を開始(2015年にチョコレートの製造・販売から撤退、2017年に解散)</li> </ul>
2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>美山名水(現美山工場)を買収</li> </ul>	2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士名水(現富士工場)を設立</li> <li>ポパイ食品工業(現茨城工場)を買収。調味料の製造・販売を開始</li> </ul>
2004年	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわて醤油(現岩手工場)を買収(2018年に醤油事業撤退)</li> <li>大黒屋を買収。せんべいの製造・販売を開始</li> <li>静岡工場を新設。缶コーヒーの製造を開始</li> </ul>	2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>北勢麵粉を買収。乾麺及びインスタントラーメンの製造・販売を開始</li> <li>藤洗を買収。冷凍麺の製造・販売を開始(2014年にアクアピアと合併)</li> </ul>
2005年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクアピアを買収。氷の製造・販売を開始</li> </ul>	2012年	<ul style="list-style-type: none"> <li>山忠運輸を買収。運送業を開始</li> </ul>
2006年	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾鷲名水(現尾鷲工場)を設立</li> </ul>	2013年	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北ビバレッジ(現蔵王工場)を買収。炭酸水の製造・販売を開始</li> </ul>

\*1:2022年4月4日より新市場区分における「スタンダード市場」に移行しています。

# LIFEDRINK COMPANY